

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市金剛沢児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》	・ 令和3年度 13,407人（前年度比 95.6%） ・ 令和2年度 14,025人 ・ 令和元年度 21,694人
	《事業》	・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》	( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 46,263千円 (43,183千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
	《収入》	・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者会を実施。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>コロナ禍で子どもも保護者も不安が募る中、「子どもの最善の利益」のためどんなことができるか、運営全般に気配りをした1年でした。</p> <p>○児童健全育成事業 自由来館の制限がある中でも児童館だからできることを模索し活動を展開しました。</p> <p>○子育て家庭支援事業 『つばみ会』は近隣集会所で開催、少人数だから話せること、打ち明けられることがあるんだと感じました。 また子育て支援クラブは乳幼児親子対象に季節を感じられる活動を実施しました。SDGsを意識した活動としておさがり会を実施。「久しぶりに同じくらいの子どもを持つ大人と会えました。」というおはなしもあり、こういう機会を待っているんだと実感しました。</p> <p>○地域交流推進事業 西多賀中、親児の会と共催した活動を実施しました。久々に児童館以外の団体と共催ができ充実した時間でした。 西多賀まちづくり推進委員会や天沼公園愛護協力会と協働し、子どもたちが地域に根ざした活動の一環となりました。</p> <p>○放課後児童健全育成事業 新型コロナウイルスの陽性者が出た時は小学校、保健所と連携し情報の共有をしました。子どもたちが不安にならぬよう、様々な活動を計画、実行しました。天気の良い日は公園で遊び、室内遊びも職員が試行錯誤し実行しました。三神峯公園の清掃活動を兼ねたピクニックに行く等、地域の中での活動も展開しました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、中高生の職場体験やボランティアをコロナ禍に配慮しながら積極的に受け入れ、健全育成事業や児童クラブ行事の準備や活動の中で役割を担う場を作り、中高生が自己発揮できる場を提供した。「つばみ会」は継続開催し、子育てや子どもの発達に悩む保護者が相談したり情報交換・意見交換ができる場を提供するなど、子どもの健やかな育ちを支援しながら、保護者支援にも努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、幼児クラブや子育てサロン・子育て広場で親子遊びや季節の行事を取り入れ、継続して開催した。幼児クラブでは手作り楽器での合奏、「はればれぐみ」では持ち帰れる玩具を工作して児童館での遊びを家庭でも楽しめる工夫をするなど、乳幼児への豊かな体験の場を提供している。また、保護者の要望を受けて「おさがり会」を再開したり、育児図書を増やすなどニーズに応えながら多様な支援に努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、「金剛沢親児の会」と連携した「餅つき・餅花作り体験」を行った。中学生ボランティアも参加し、異年齢交流を図りながら伝統行事体験の機会となった。「三神峯展」での名所紹介や「天沼公園環境浄化活動」での清掃など地域に根差した活動へ積極的に参加し、子どもが地域と関わりながら育つ環境作りに努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、年間を通して壁面装飾を子ども達が作成したり、例年地域の方の参加も多かった「小さな芸術会」を児童クラブで開催し事業の継続に努めると共に、豊かな感性を育んだ。カードゲームや「てんか」など日々の遊びの中でも異年齢交流や自己発揮できる支援を行い、自主性や社会性を育んでいる。</p>	S

#### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課